

地域資源の継承と持続可能な コミュニティのデザイン研究

KEYWORDS 地域資源の発見と活用、まちの記憶の記録と共有、地域コミュニティデザイン



CATEGORY

文化芸術

個人研究

地域固有の魅力を目視化あるいは交流につなげるためのワークショップや、コミュニケーションデザインの制作、または持続可能なコミュニティのための課題解決につながるデザインの研究をしています。

研究者紹介



デザイン学部

教授 酒百宏一

主な学会発表
論文・著書・社会活動

【01-1】オオタノカケラ 2013-2020
明日のまちへの記録と継承 / 2023
年 / 環境芸術学会 / ポスター発表及
び大会企画シンポジウム基調講演
【01-2】までい花プロジェクト /
2023年 / 福島県飯館村(NPOふくし
ま再生の会) / ワークショップ実施
【01-3】みどりの部屋プロジェクト /
2022年 / 新潟県十日町(大地の芸
術祭実行委員会) / 展示交流活動
【02-1】六郷のタカラ展vol.7 戦時中
の六郷を知っていますか / 2023年
/ 六郷のタカラ探検隊 / 展示デザ
イン
【02-2】入新井の記憶 / 2021年 / 大
田区地域力推進課区民協働生涯学
習、入新井図書館 / 展示コンテンツ
デザイン

<https://koichisakao.org/>

01 アート協働制作による地域コミュニティでの活動



色鉛筆等の画材で対象物を紙に写しとる作品づくりを通して、こどもからお年寄りまでが参加可能なワークショップを実施。見過ごしてきたものや失われるものを参加者と共に共有し、地域の魅力を浮かび上がらせ、記憶の記録や可視化することでさまざまなかたちでの交流活動に展開させていく。

(事例として大田区と町工場、飯館村と花、十日町市と葉っぱ、新潟市と農具、南千住と町の記憶、浜田市と木、台北と蝶、宇都宮と商店街など)

02 地域交流活動を推進するコミュニケーションのデザイン



コミュニティに住む個人が自らの土地を知り、コミュニティの魅力を再発見するという個人が獲得した学びを地域に対していかにひらいていくかということに焦点を置き、展示されたものから自分を重ねることで、学びを共有し、また学びがつながるといった「地域をひらく」ワークショップやプレゼンテーションの手法の研究。(実績として大田区地域力推進課生涯学習担当地域学講座、六郷のタカラ展)

想定される活用例、相談可能な分野

- 地域コミュニティにおける資源の継承についてデザインからサポートします。
- 地域におけるアートを手法とした作品やワークショップなどの協働制作について情報提供ができます。
- コミュニティデザインの役割やコミュニティとの共創・協働のデザインについて情報提供ができます。
- 地域における記憶をテーマとしたアートによる作品づくりのワークショップ開催
- 地域固有の魅力を目視化あるいは交流につなげるためのワークショップ開催